



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2019.7.10 Vol.161

三蔵五訓

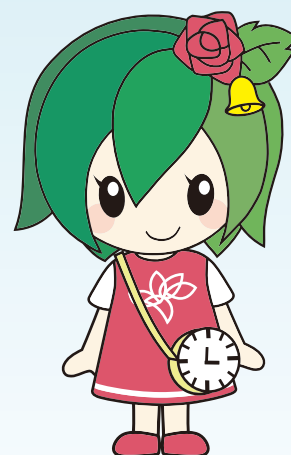
真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



2020年12月末竣工予定『未来創造館』

揺るぎなく前進！

卒業生の就職状況及び充実した就職支援	1
卒業生のコメント	2
新入生合宿オリエンテーション	3
学内トピックス	5
研究活動	8
インフォメーション	9
学友会短信	10
国際交流瓦版	11
学内人事	12
財務状況	13
訃報	15
入学試験の概要	15



福山大学イメージキャラクター
「ふくりん」

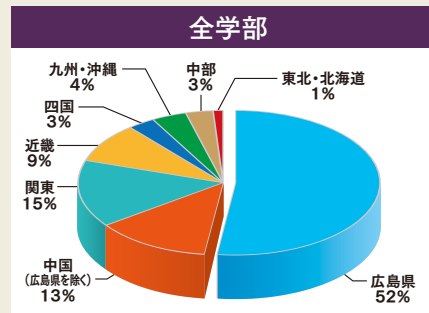
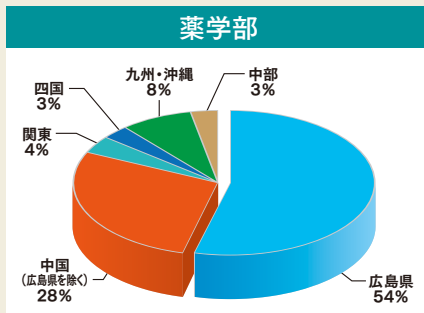
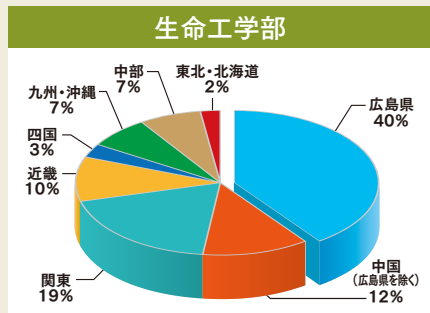
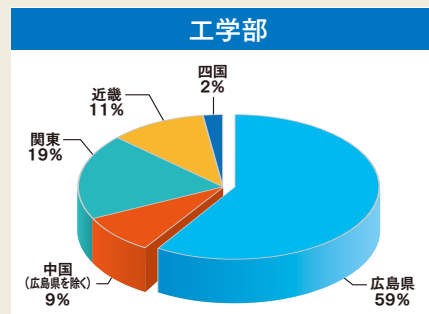
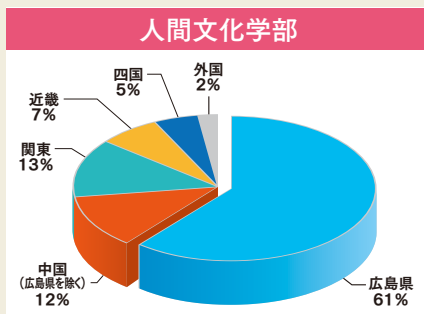
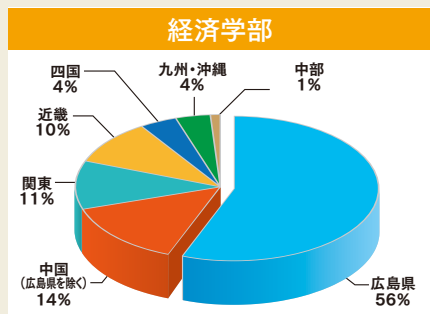
平成30年度の就職状況と就職支援

平成30年度に福山大学が受付けた求人は、544事業所からでした。就職情報サイトのWEB募集等を加えれば、求人数はかなり増加しています。一方、平成30年度における卒業生の就職率は99.8%で、厚生労働省と文部科学省が公表した全国の大学生の就職率97.6%や中国・四国地区の97.1%を上回ることができました。また、広島労働局が公表した県内大学生就職率96.1%をも大きく上回っています。

現在は、就職委員会を中心に今年就職した卒業生の就職先を優先的に企業訪問し、卒業生のフォローと新卒採用枠拡大のお願いを行っています。また、学内での企業説明会を積極的に増やすなど、大学を挙げて就職支援を強化しています。

平成30年度卒業生の各学部・全学部の地域別進路状況は、下記のとおりです。

平成30年度 地域別進路状況



福山大学独自の就職支援の取り組み

本学では、学生一人ひとりが少しでも希望する職業に就けるよう、ゼミ担当教員を中心に各学部・学科から選出された就職委員や就職課職員が一体となった独自の下記プログラムによる就職支援を行っています。

国家資格「キャリアコンサルティング技能士1級」保有の職員が行う就職相談や面接練習は、学生の希望する日時に随時対応しています。また、個別指導としては学生が希望する職種・業種・企業名をゼミ担当教員や就職課職員が確認したうえ、適切な指導や支援を行って

おり、面談内容を就職情報システムに登録することでゼミ担当教員と就職課職員が相互に情報を共有することができます。このように、一人の学生に多方面から一貫性のある就職支援を可能にしています。

さらに、WEB就職システムは、学生が大学宛の求人票を学内だけでなく自宅からでもパソコンやスマホを使って閲覧・検索できたり、自分が希望する企業や職種・業種を登録しておけば、該当する求人票が大学に届いた時に学生個人のメールアドレスに案内したりする機能も備えています。

1. 就職ガイダンス

- 第1回就職ガイダンス:5月
就活スケジュールとこれからの対応
- 第2回就職ガイダンス:6月
「履歴書～自己PR～」
- 第3回就職ガイダンス:7月
企業研究
- 第4回就職ガイダンス:10月
就活の基本マナー
- 第5回就職ガイダンス:11月
働くこと、労働法について
- 第6回就職ガイダンス:12月
体験発表会
- 第7回就職ガイダンス:1月
求人票の見方、企業選びの基準
- 第8回就職ガイダンス:2月
合同企業説明会事前準備の仕方

2. 就職対策講座

- WEBテスト マイナビ全国テスト
- 秋季SPI講座(業者) 4コマ
- WEBテスト リクナビ全国テスト
- 業界研究講座 リクナビ、マイナビ主催
- 履歴書・エントリーシートの書き方講座 随時
- 面接対策講座(グループ面接) 随時
- グループディスカッション対策講座 随時

3. 学内合同企業説明会

- 3月 福山ニューキャッスルホテルで実施
広島県内外から150社が参加
3月 大学会館で実施
広島県内外から530社が参加
5月 薬学部対象 病院・企業等170社が参加
6月 留学生対象

※次回は夏季休業後に実施予定

4. 単独企業説明会

本学学生のために企業を招き、個別の会社説明会を実施

5. 保証人との就職懇談会

薬学部:4月
経済学部・人間文化学部・工学部・生命工学部:12月

6 就活相談

国家資格「キャリアコンサルティング技能士1級」保有
職員による相談対応
ジョブサポーターによる就職支援

7. 就職情報サイト運営会社主催の合同企業説明会に貸切バスで参加

広島・大阪の各会場に参加

8. 同窓会による業界研究

各業界で活躍するOB・OGによる業界説明会の実施

卒業生のコメント

行廣 佑介 経済学部経済学科（平成31年3月卒業） 就職先：(株)広島銀行



私は「生まれ育った地域に貢献したい」という想いを軸に就職活動を進めました。その際に私は「やりがい」と「自己成長」の2つを重視していました。1つ目の「やりがい」は、自分が心からやりたいと思う事を仕事にする事でどれだけ辛いことでも乗り越えることができるからです。次に「自己成長」では成長できる環境が整っている事で自己成長に繋がり、ひいては会社や地域社会への貢献に繋がると考えたからです。

先行き不透明と騒がれ、目まぐるしく変化している金融業界ですが、今しか経験できない事や知識が必ず近い将来

自分の為になると思い、広島銀行への入行を決意しました。

大切なのは「自分は何がしたいのか」「どうなりたいのか」だと思います。風通しの良い職場や人間関係など就活では分かりません。どれだけ辛いことがあっても自分が本当にやりたい事を明確にできれば必ず頑張れます。

人生はこれからです。嫌々働く日々よりも、自分の仕事に「誇り」と「使命」を持って働けるような選択をしてください。皆さんの就活を心より応援しています。

三好 壮平 人間文化学部メディア・映像学科（平成31年3月卒業） 内定先：株式会社セガゲームス



クリエイターになりたい。就職活動の際、その思いだけは曲げたくありませんでした。そして、その道は険しいと考えていたので、私は早めに就職活動を始めました。クリエイターだけに絞って、この結果になったのは運もあるかもしれませんが、企業調べやSPI試験対策等の、事前準備をたくさんしたからだとも思います。就職活動する際は、自分が何をしたいのかを早いうちに考え、企業を調べていくことが大切だと思います。また、面接をする際には、自分らしさを表現することが大切だと実感しました。自分の想いをぶれることなくはっきりと具体的に伝えたことで、面接官との距離が

縮まり、話しやすい環境になったと感じたからです。早い時期から動くこと、自分の想いを強く持ち、それを具体的に表現できること。これらが就職活動の際、意識してよかったと思う点です。

私は映画会など学科活動での出会いを通じて、クリエイターになるという夢を持つことができました。多くの人の支えによって、今の自分があると考えています。これからも出会いを大切にしていきたいですし、皆さんにもそうしていったほうがいいです。

濱田 大祐 工学部情報工学科（平成31年3月卒業） 就職先：株式会社ミウラ



私は就職活動を通して、準備の大切さを、身をもって体験しました。履歴書に関することは面接で必ず質問が来ます。自分の行ってきたボランティア活動など、話のネタになることをしっかり記入しておくことで、面接で自己アピールできる機会が増えます。私が履歴書を書き始めたのは大学3年生の10月頃でした。その時記入欄の半分も埋めることができませんでした。その原因は私がそれまで何も活動をしていなかったことです。そのことに危機感を覚え、積極的に校外活動に参加していたことを今でも覚えています。就職活動の全てが履歴書で決まるわけではありませんが、大事

な1つの要素です。「どんな準備をするべきなのか」「自分に足りないものはなにか」を明確にして物事に取り組んでいくことが大切です。そしてその経験によって得られたものが本当に価値のある「自己PR」だと私は思います。

新卒採用での就職活動は今後の人生を大きく変えるものです。悔いの残らないよう「やりきった」と思えるまで積極的に活動を行ってください。皆さんのこれからを応援しています。

橋本 悠汰 生命工学部生物工学科（平成31年3月卒業） 就職先：(株)セラアグリパーク



私は学科のワインプロジェクトを通してワイン造りに興味をもち、ワインメーカーでの製造職を希望していました。しかしワイナリーは小規模製造業者が多く特殊な業種で、求人自体が多くありません。あっても経験者や製造部門以外での求人ばかりで、新卒向けはほとんどありませんでした。そこで私は、ワイナリーへの就職希望の旨を先生に相談してみました。すると、ちょうど県内の複数のワインメーカーが新規採用を計画しているとのことで、その内の1社に求人票を出していただきそれに応募、入社試験を経て採用となりました。

ワイナリーに限らず、専門性の高い一部の業界では広く求人が出されていない場合があります。それは必ずしも募集自体がないわけではなく、普通に公募しても適切な人材が集まりにくいからです。そのため、その業界に興味があることを周囲にアピールすることが有効な方法の1つになります。

就職活動は思い通りにならないこともありますが、そんな時は周りの人に頼ってみることも大切だと思います。皆さんの今後の活躍を楽しみにしております。

田村 安希 薬学部薬学科（平成31年3月卒業） 就職先：岡山赤十字病院



調剤薬局、病院、ドラッグストア、製薬会社、大学院等...どの道を選ぶか決めましたか？

既に内定が決まっている人もいれば、まだ悩んでいる人もいます。

私は、元々が治療に興味があり、がん化学療法に薬剤師として深く関わりたいと思っていました。さらに5年次の実務実習を経て、チーム医療の中で活躍する薬剤師に憧れて病院を選びました。

就職活動をするにあたり、自分は何に興味があって、どんな長所、短所があって、将来どのようにになりたいか、自分自身

を見つめ直しました。また、たくさんの病院がある中で自分の希望を叶えることができる環境か、雰囲気や現場の声を聞くために実際に見学に行きました。授業や研究がある中で就職活動は大変でしたが、妥協せず就職活動を行えたことで、希望通りの就職ができたと思っています。

6年生で授業や試験に追われる中で就職活動は大変だと思いますが、新卒での就職は人生に一回だけなので、自分の人生について一度しっかり考えた上で、後悔のないように就職活動に臨んでほしいと思います。頑張ってください。

新入生合宿オリエンテーション



経済学部 合宿オリエンテーションで仲の良い友達ができました！

私たち経済学部新入生は入学して間もなく、「ツネイシしまなみビレッジ」で1泊2日の新入生合宿オリエンテーションに参加しました。

1日目には海外留学プログラムの説明がありました。先輩方の貴重な体験談などを聞き、私も今後の活動に生かしたいと思いました。夜に行われた学科別オリエンテーションでは、自己紹介をしたり、グループ単位で知恵の輪ゲームをしたりしました。初めは緊張していましたが、ゲームを通してグループの人と話せるようになり、仲を深めることができました。

2日目は、学年リーダーさんが用意してくださった「宝探しゲーム」をグループに分か

れて行いました。長い距離を歩いたり、たくさん問題を解いたり、協力することが多かったので団結力が高まったと思います。

今回の合宿で、ごはんやお風呂、レクリエーションを一緒にする中で、仲の良い友達ができ、良い大学生活がスタートできたと思います。また、私たちのために様々な準備や指導をくださった先輩方のようになれるよう、これからの大学生活を大切に過ごしていきたいと思っています。

国際経済学科 1年 有馬 悠生

人間文化学部 合宿を通して友達ができた！！

私たちメディア・映像学科は、4月5日から1泊2日の新入生合宿オリエンテーションに参加しました。

宿泊地である「ツネイシしまなみビレッジ」へバスで移動し、学科のみんなが参加して自己紹介を30秒ピタリにおさめるゲームに挑戦しました。私は残念ながら優勝は逃しましたが、同じ趣味を持っている人と出会うことができ、仲間と打ち解けるという優勝以上の結果を得られました。夜も、一緒にの部屋になった同級生たちと一つの空間を共にすることで、互いを知ることができ、さらに友達をつくることができました。

2日目には、お題に合わせて新聞の上を

はみ出さず移動するといったレクリエーションを心理学科と合同で行いました。学科の枠を超えて交流を深めることもできたりと、非常に充実した2日間になりました。

私は同じ高校の同級生がこの福山大学にほとんどおらず、正直これからの大学生活が不安でした。しかし、この合宿を通して仲の良い友達、気軽に話せる先輩がたくさんできました。これからの4年間、このメンバーで切磋琢磨しながら過ごしていきたいと思っています。

メディア・映像学科 1年 谷本 蒼弥



工学部 4年間の学びのスタート

期待と不安いっぱい入学式が終わり、合同合宿が始まりました。まだ名前も知らない子が大勢いましたが皆だんだんと馴染んで来ました。

宿泊会場で夕食後に行ったレクリエーションのドッジボールでは、1位をめぐるって白熱した試合を繰り広げました。

翌日大学に戻り、パスタタワーの制作コンテストを行いました。高さを競うコンテストで、建築学科らしさと意外な難しさに苦戦しました。一回目での失敗を生かして取り組んだ2回目の結果は倍以上になり、予想外の高さに驚きと達成感

を感じました。

これから4年間どんなときも共に学び、競い合う仲間、これからもより仲良くなり手を取り合って勉学に励みます。

建築学科 1年 藤川 祥

生命工学部 新しい仲間と新しい大学生活

入学式の2日後、早速始まったオリエンテーション合宿。中学校や高校の時とは違い、クラスに友達が1人もいなかったので、勇気を振り絞って自分から声をかけました。その子とはとても仲良くなり「話しかけてくれてありがとう。嬉しかった。」と言われたことがすごく印象に残っています。

合宿ではまず授業の履修登録を行いました。仕組みがよく分かっていなかったので、先生の説明をメモしながら必死で理解しました。また学生リーダーの4年生がとても分かりやすく教えてくださり、先輩方の経験から講義内容なども教えてくださったので、とても参考になりました。レクリエーションではスポーツ雪合戦を行いました。

これも初めての経験でしたが、福山大学スポーツ雪合戦同好会の方々の指導の下、4チームに分かれて総当たり戦を行いました。みんなで作戦を練ったり、勝ったときには喜び合ったり、とても盛り上がりクラスみんなと打ち解ける良い機会になりました。

これからの大学生活、新しい仲間と励まし合いながら、自分の将来のために今できることにたくさんチャレンジしていきたいです。

生物工学科 1年 石岡 綺音



薬学部 新入生合宿オリエンテーションに参加して

薬学部の新入生108名は、「ふくやまふれ愛ランド」で1泊2日の合宿オリエンテーションに参加しました。

オリエンテーションでは、コース内のカードを探し出す「スコア・オリエンタリング」や1人1文字ずつ書いて文章を作成する「合作綴り方」を行いました。どちらも協力し合うことで、グループの一体感が感じられる楽しい活動でした。

履修登録は、作業の難しさに不安を覚えたのですが、チューターの先輩がアドバイスを下さったことで、安心して進めることができました。また、先生方との距離が近く、困ったことや分からないことをすぐに聞ける環境が整っていることに驚きました。

合宿オリエンテーションを通して、自然と友達の輪が広がり、私たちの緊張した面持ちは次第に笑顔に変わっていきました。今は、6年後に対する強い思いと意欲を持っている仲間と一緒に勉強できることに喜びを感じています。これから6年間、様々な経験を通して、知識や思考力を確実に身に付けていきたいと感じた2日間でした。

薬学科 1年 和田 英江



「未来創造人」の育成拠点である『未来創造館』の新築工事が着工！

未来創造館の新築計画は、平成29年4月から本格的に開始し、実施設計の完成、地元企業を含む3社で結成されるJV（共同企業体）による施工会社の決定、学長室ブログでも紹介された地鎮祭（としずめのまつり）が、平成31年3月に法人・大学関係者、設計会社、及び施工会社の出席のもと、備後一宮吉備津神社宮司のご祈祷により工事中の安全を祈願し、滞りなく執り納められ、4月から工事に着手しました。

準備工事を経て、7月から基礎工事、令和2年1月から鉄骨工事を開始し、上棟が4月末頃の予定です。この頃には、建物の全体の大きさが見えてくると思います。12月末には建物も完成し、令和3年4月から建物の運用開始となります。

未来創造館が完成後も現10・11・12号館の解体工事、外構工事と工事も引き続き計画があり、全工事が終了するのは、7月末頃の予定です。

この度の未来創造館新築工事は、福山大学創設以来の高層建築物で長期工事期間となる大規模事業となります。その

為、工事関係者も工事期間中の無事故無災害、安全第一で工事を行っております。無事故でこの未来創造館新築工事が無事完成するよう、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。また、長期間の工事で皆様にご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

経理部 施設課

建物概要

建築面積：2,406.49㎡

延床面積：13,004.44㎡

階 数：11階建

構 造：鉄骨造（一部CFT造）

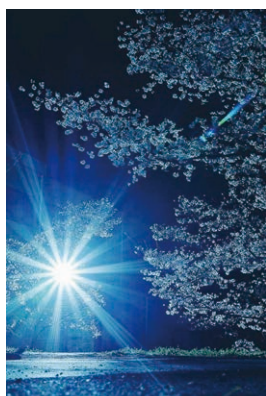
※CFT造：コンクリート充填鋼管造
最高高さ：46.85m



第8回「福山大学の桜」ミニフォトコンテストを実施！



最優秀賞の作品



優秀賞の作品

「福山大学の桜」ミニフォトコンテストは第8回目を迎えました。平成時代の最後を飾ることとなりましたが、審査や表彰式は記念すべき令和の最初のイベントとなりました。今回は79件と例年以上に多くの応募をいただきました。今年の桜の開花期間が例年に比べて長かったことも幸いしたのかもしれませんが。

セレッソによる投票（346票）の結果、以下の作品が選ばれました。表彰式は5月29日に行われ、松田学長より表彰状と記念品が贈呈されました。

最優秀賞：「さくら」（経済学部経済学科・坂口圭一郎さん）、優秀賞：「現代的さくらの幻想」（生命工学部海洋生物科学科・菅 美咲さん）、さくら賞：「三蔵屏風」（経済学部経済学科・武正麻佑さん）、さくら賞：「廻る季節」（生命工学部海洋生物科学科・中荒井李華さん）

最優秀賞作品のコメントには、「7号館沿いの道路に連なる桜がとても綺麗だった

ので、この場所で撮影しました。今年のテーマが春の香りとパワーを表すというもので、写真全体の雰囲気や被写体の表情などにこだわりました。」とあり、美しい福山大学の春の時空間を全体の雰囲気や表情にこだわって切り取られたようです。このように本ミニフォトコンテストが、日常の学生生活の中にあってキャンパス内の美を発見する機会となり、皆さんの心を和ませるきっかけのひとつになれば幸いです。

このコンテストは歴代の学生委員長、副委員長を始め、多くの関係部署の皆様のご理解とご尽力によって引き継がれ、第8回を迎えることができました。作品を応募いただきました皆様とともに御礼を申し上げます。これからも福山大学構内の自然は四季折々の風景を楽しませてくれることでしょう。時には学内の景色に目をやり、大いに和みましょ。

学生委員長 田中 哲郎

福山大学研究ブランディング事業について～鞆の浦学の構築～

広島県福山市の鞆の浦は、瀬戸内海ほぼ中央に面し、東西からの潮の満ち引きが交わる地点であることから潮流を利用した海運の要衝「潮待ちの港」として古くから栄えました。759年編纂の万葉集には鞆を詠んだ歌が八首残されています。江戸時代の遺構である「常夜灯」「波止場」「雁木」「焚場（たでば）」「船番所」の歴史的港湾遺産の5点全てが現存するのは鞆の浦が唯一とされている。

「鞆の浦学の構築」

地域にある大学として、福山大学の研究者が愛情を持って郷土の洞察を深め、地域の住民との交流を軸に調査研究を進め、学部内各学科が協力して、地域の持つ歴史的・文化的資産を、フィールドワークや映像取材、新聞メディアの制作などを通して探求し、地域に住むキーパーソンとの協力のもと、「地域学」としての「鞆の浦学」を構築して行きます。

研究拠点として、文化遺産の集まる雁木近くの住居2階部分を借り上げ、「鞆の浦学」構築に向けた地域住民との交流を積極的に進めています。具体的には3月に行われた雛祭りでのイベント企画や、7年ごとに担当地区を交代して実施される9月の秋祭りの映像記録などを実施しました。昨年は寺町・鍛冶屋町が担当エリアで、沼名前（ぬなくま）神社のすぐ近くで執り行なわれましたが、その地域の住民からの要望で映像を上映する事となり、ふさわしい環境を探したところ顕政寺の本堂の白壁の提供を受け上映しました。

この事業のもう一つの柱であるメディア・映像学科の学生の作品展示を行うイベント「鞆の浦deアート」では今年、その「顕政寺」で行われます。

メディア・映像学科 教授 中嶋 健明



福山大学ブランディング事業について～地域遺産の保全と継承～



「地域遺産」は様々な使われていますが、学術用語としての明確な定義はありません。ユネスコ世界遺産が掲げる「顕著な普遍的価値」への批判的考察から、思い浮かんだ言葉です。「有形無形を問わず、地域の人々が守り、後世へ伝えたい地域の至宝」と私は暫定規定しています。遺したいという地域自らの意思と自発・自律的な実践活動があることをその要件と考えています。事例調査を通じて「地域遺産」を概念規定し、その保全と継承のための知見を得ることが現在取り組んでいる研究の大きな目的です。本研究テーマには、福山大学ひと・まち・くらしプロジェクトの一環として活動している、建築学科の学生が中心の備後地域遺産研究会が深く関わっています。教育、研究、社会活動を連携させることが活動趣旨で、学生たちの専門性と自律した地域との真の協働をその理念としています。

現在取り組んでいる主なテーマは、蘭草栽培実践による備後表の保全と継承、鞆町を含む沼隈半島と島嶼部における地域遺産の「発掘」、ギャラリー蔵を拠点とした福山市西部の地域デザイン、現存能舞台や能楽堂の実測調査と復元など、対象も内容也多岐にわたります。いずれも、2015年の私の福山大学着任時から、学生たちと備後地域のフィールドに通い、人々と交わり、地域との信頼関係を築きながら「発掘」してきた地域遺産です。

フィールドワークは、何より研究対象や地域との信頼関係構築が難しく、研究としては緒に就いたばかりです。しかし、地域社会における福山大学の信用と瀬戸内の里山・里海という恵まれた周辺環境によって、10年かかるものが4年で築けたというのが実感です。

建築学科 教授 佐藤 圭一

令和元年度 福山大学教育懇談会について

本学では、開学以来毎年、教育懇談会を開催しています。
 この教育懇談会では、保証人の皆様に本学の近況をお知らせするとともに、教育理念や指導方針、学生生活や就職についてもご説明させていただいております。全体説明後、個別懇談においてご子女の学業成績や履修・出席状況等をお伝えし、保証人の皆様のご質問やご相談にお答えしています。

本年度も、本学（福山大学）会場を含め、全16会場での開催を予定しております。詳細は、7月中旬に「教育懇談会の開催について（ご案内）」を送付します。ご確認の上、同封の返信用ハガキにてご出欠をお知らせください。
 多くの皆様のご参加をお待ちしております。

学務部 教務課

期 日	開催地	会場名	対象学部
9月2日(月)	山 口	山口グランドホテル	全学部
	大 阪	大阪ガーデンパレス	全学部
	高 松	高松東急REIホテル	全学部
9月3日(火)	神 戸	ホテル北野ブラザ六甲荘	全学部
	高 知	オリントホテル高知	全学部
	沖 縄	ネストホテル那覇	全学部
9月4日(水)	広 島	広島グランドインテリジェントホテル	全学部
	鹿児島	ホテルマイステイズ鹿児島天文館	全学部
	松 江	松江エクセルホテル東急	全学部
9月5日(木)	福 岡	福岡ガーデンパレス	全学部
	米 子	米子ワシントンホテルプラザ	全学部
	東 京	アルカディア市ヶ谷（私学会館）	全学部
9月6日(金)	岡 山	ビューリティまきび	全学部
	松 山	ホテルサンルート松山	全学部
	名古屋	名古屋ガーデンパレス	全学部
9月7日(土)	福 山	福山大学	経済学部（3・4年生） 生命工学部 薬学部（学生番号：偶数） 経済学部（1・2年生） 人間文化学部 工学部 薬学部（学生番号：奇数）
9月8日(日)	福 山	福山大学	

※9月7日(土)・8日(日)は、都合が悪い場合、対象ではない日に出席されても構いません。

令和元年度 福山大学学生表彰について

令和元年5月30日(木)、15号館3階第2会議室にて令和元(2019)年度福山大学学生表彰が行われました。今回は、学業部門38名が表彰(学長賞)されました。受賞者は下記のとおりです。表彰式では、松田文子学長からの挨拶に続き

て、受賞者を代表して薬学部薬学科4年生の原田涼平さんが、受賞の喜びと御礼の言葉を述べました。受賞された皆さん、おめでとうございます。

学務部 学生課

学長賞【学業部門】							
学 部	学 科	学 年	氏 名	学 部	学 科	学 年	氏 名
経済学部	経済学科	2 年	増田 有寿	工学部	建築学科	3 年	板垣 智瑛
経済学部	国際経済学科	2 年	KIKO LOPES	工学部	情報工学科	3 年	山本 拓真
			GABRIELA KAORI	工学部	機械システム工学科	3 年	川上 皓太郎
経済学部	税務会計学科	2 年	實利 圭悟	生命工学部	生物工学科	3 年	相馬 修成
人間文化学部	人間文化学科	2 年	中山 舞香	生命工学部	生命栄養科学科	3 年	徳永 賢二
人間文化学部	心理学科	2 年	山本 美優	生命工学部	海洋生物科学科	3 年	山口 大輝
人間文化学部	メディア・映像学科	2 年	川本 綾乃	薬学部	薬学科	3 年	大谷 早紀
工学部	建築学科	2 年	石口 智奈月	経済学部	経済学科	4 年	寺岡 永莉
工学部	情報工学科	2 年	小寺 裕也	経済学部	国際経済学科	4 年	姜 海洋
工学部	機械システム工学科	2 年	下田 和幸	経済学部	税務会計学科	4 年	高田 晟治
生命工学部	生物工学科	2 年	中其 祐樹	人間文化学部	人間文化学科	4 年	蔣 瑩
生命工学部	生命栄養科学科	2 年	安永 結衣	人間文化学部	心理学科	4 年	高橋 つぐみ
生命工学部	海洋生物科学科	2 年	田中 天真	工学部	情報工学科	4 年	黒木 春樹
薬学部	薬学科	2 年	白名 真子	工学部	機械システム工学科	4 年	西形 堅
経済学部	経済学科	3 年	森川 貴博	生命工学部	生物工学科	4 年	西邑 明斗夢
経済学部	国際経済学科	3 年	三谷 龍哉	生命工学部	生命栄養科学科	4 年	多田 悠佳
経済学部	税務会計学科	3 年	平松 知	生命工学部	海洋生物科学科	4 年	安田 皓輝
人間文化学部	人間文化学科	3 年	山上 咲南	薬学部	薬学科	4 年	原田 涼平
人間文化学部	心理学科	3 年	徳田 沙妃	薬学部	薬学科	5 年	清水 優貴
人間文化学部	メディア・映像学科	3 年	苏 靖雯				

研 究 活 動

2019年度 科学研究費助成事業

★研究種目

◎研究代表者氏名・所属・職名・(研究期間)
研究課題・(2019年度交付金額)

★基盤研究(B)

◎春名 章二 経済学部 教授 (2016年～2019年度)
イノベーション、企業間競争及び国際的生産活動のダイナミクスに関する研究 (200万円)

★基盤研究(C)

◎赤澤 淳子 人間文化学部 教授 (2016年～2019年度)
アクティブラーニングを導入したデートDV予防・介入教育プログラムの開発と効果検証 (60万円)

◎青木 美保 人間文化学部 教授 (2017年～2019年度)
井伏鱒二未公開書簡の基礎的研究—文学の生成と「同学コミュニティ」の関係を視座に (80万円)

◎平 伸二 人間文化学部 教授 (2017年～2019年度)
国際テロ及び組織犯罪の未然防止に向けた事象関連電位による探索型情報検出の確立 (60万円)

◎松本 明生 人間文化学部 准教授 (2017年～2019年度)
アクセプタンスの獲得を用いたストレスマネジメントに関する臨床心理学的研究 (50万円)

◎小原 友行 人間文化学部 教授 (2018年～2020年度)
「グローバル・パートナーシップ」を育成する多文化間イシュー教材の日米協働開発 (100万円)

◎安田 暁 人間文化学部 教授 (2018年～2020年度)
解像度から深さへ:銀塩写真メディアの構造を応用したデジタル画像表現の質的転換 (30万円)

◎加藤 昌彦 工学部 教授 (2017年～2020年度)
ナノワイヤ利用微細凹凸による極低摩擦係数薄膜の開発 (30万円)

◎宮内 克之 工学部 教授 (2018年～2020年度)
炭素繊維束で端部定着された炭素繊維格子板のせん断特性の評価に関する研究 (10万円)

◎都祭 弘幸 工学部 教授 (2018年～2020年度)
ヒンジ部損傷抑制コアの効果に関する実験的研究 (130万円)

◎池岡 宏 工学部 准教授 (2018年～2020年度)
色収差およびカラーフィルタ絞りを利用したアオリ光学系による距離推定技術の開発 (120万円)

◎大島 秀明 工学部 教授 (2019年～2021年度)
複合図書館の滞在型利用からみた地域拠点の可能性に関する研究 (150万円)

◎佐々木 伸子 工学部 准教授 (2019年～2022年度)
発達障害児支援に向けた小学校普通教室の構造化のニーズと可能性 (40万円)

◎尾関 孝史 工学部 教授 (2019年～2021年度)
受講者の受講状況に基づいたオンライン授業映像の評価・改善に関する研究 (160万円)

◎石井香代子 生命工学部 教授 (2017年～2019年度)
給食施設への新調理システムの構築と製造管理 (40万円)

◎佐藤 淳 生命工学部 准教授 (2018年～2021年度)
アカネズミゲノム情報から瀬戸内海の古代河川が残した足跡をたどる (120万円)

◎今 重之 薬学部 教授 (2019年～2021年度)
新たな阻害作用機序を示す次世代抗インテグリン薬の開発 (130万円)

◎中尾 佳行 大学教育センター 教授 (2017年～2019年度)
『カンタベリー物語』Hg, Ei写本及び刊本の編集方法と言語・機能の研究 (50万円)

◎大塚 豊 大学教育センター 教授 (2018年～2020年度)
アジア諸国における華僑・華人による大学運営実態に関する実証的比較研究 (110万円)

◎Lowes Jason 大学教育センター 講師 (2018年～2020年度)
Determining the Best Practice to Prepare for Multiple-choice Tests (80万円)

★若手研究

◎柴田 紗知 生命工学部 助教 (2018年～2020年度)
変形性関節症と骨粗鬆症の双方に有効な食品機能成分の探索と作用機構の解明 (100万円)

◎高山 健人 薬学部 講師 (2018年～2019年度)
腸内細菌叢の変化を介した緩下薬の下剤活性制御に関する研究 (90万円)

◎高阪 勇毅 経済学部 講師 (2019年～2021年度)
売買単位集約を目的とした株式併合の増加と株価・流動性への影響 (120万円)

◎村上 亮 人間文化学部 講師 (2019年～2022年度)
第一次世界大戦前夜ボスニア・ヘルツェゴヴィナ施政にみるハプスブルク支配の諸相 (60万円)

◎宮崎 由樹 人間文化学部 准教授 (2019年～2022年度)
身体拡張のダークサイド:ウェアラブルロボット装用者に対する非人間的認知の生起 (80万円)

◎金平 希 人間文化学部 助教 (2019年～2020年度)
ASDおよびADHDの幼児とその母親の情緒応答性評価による強みと脆弱性療育の把握 (70万円)

◎皿谷 陽子 人間文化学部 助手 (2019年～2021年度)
商業施設での「声かけ」による万引き防止効果の検証 (120万円)

◎白川 真 薬学部 講師 (2019年～2021年度)
ホウ素中性子捕捉療法に用いる新規薬剤BAMPの性能評価 (100万円)

「第14回 高校生CMコンテスト2019」 募集開始！

メディア・映像学科では、映像メディアに対する高校生の豊かな感性を開花させ、その才能を支援することを目的として「第14回高校生CMコンテスト2019」を開催します。

今年のテーマは「地域の魅力を発信」です。地域の魅力で人をひきつけ、そのまちに行きたくなるようなCMを考えてみてください。

今年度も「映像作品の部」「ポスターの部」の2部門で開催します。ビデオで撮影・編集して完成させた作品を応募する「映像作品の部」は、授業や部活動などで身につけた力を示す好機になるでしょう。そして、昨年度から始まった「ポスターの部」は、地域の魅力を凝縮したキャッチコピーと写真やCG、イラストを組み合わせた作品を募集します。昨年は映像の部で133作品、ポスターの部で436点の力作が集まりましたが、今年は昨年を超える新しい才能をお待ちしています。詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.fukuyama-u.ac.jp/media/>

また、サイトに加えて学科のブログでもコンテストに関する情報を、随時発信していきます。審査には本学の教員に加え、



テレビや映画の世界で活動するプロフェッショナルの映像クリエイターを複数名お招きします。受賞作品の紹介方法についても、新たな形での方法を検討中ですので、どうぞご期待ください。

お問い合わせは、人間文化学部事務室

TEL. 084-936-2112 (内線: 2223),

もしくは cm_contest@fukuyama-u.ac.jp まで。

メディア・映像学科 准教授 内垣戸 貴之



Nたま活動・柏餅作り



食と健康のひろば ローズスクエア

生命栄養科学科では、2019年度から「食と健康のひろば ローズスクエア」の活動を始めました。教員や学生が学内での新たな取り組みと、学外に出掛けて食にまつわる活動や食育活動を行います。学内には栄養相談室を開設し、月1回栄養や健康などの相談を無料で受け付けます。管理栄養士免許を有する経験豊かな教員が対応しますので安心です。栄養相談室開設日を下記にまとめましたのでご活用下さい。

また、料理教室を夏休みこども料理教室、一般市民向けの健康料理教室を開催します。子ども料理教室では、学生が子供たちにマンツーマンで寄り添い、調理指導や食育を行います。楽しく美味しく「食」を勉強できます。保護者の方の参加もOKです。一般市民向けには、生活習慣予防の食事作りをテーマに講義と調理実習を計画しています。今年は「体にいい減塩食」と題してこれから参加募集のご案内をします。その他には学科創設以来開催の市民フォーラム、Nたま活動、スポーツ栄養サポート活動として、本学経済学科スポーツマネジメントコースへの食育などを予定しています。

生命栄養科学科 教授 石井 香代子



《栄養指導室開設日と予約時間》

6/17(月), 7/ 9(火)
9/27(金), 10/10(木)
11/18(月), 12/ 5(木)
1/16(木), 2/27(木)

電話: 084-936-2111(内戦4045)

FAX: 084-936-2023

メール: eiyou@fukuyama-u.ac.jp

学友会短信

祝全国大会出場!

学友会剣道部は、令和元年6月9日(日)に開催されました第51回中四国女子学生剣道選手権大会(女子個人の部)で優勝し、第66回中四国学生剣道選手権大会(男子個人の部)でベスト8とベスト16となりました。女子1名男子2名の3名が令和元年6月29日(土)から大阪府立体育館で開催されました全日本学生剣道選手権大会に出場しました。

【サッカー部】

- 4月7日～4月14日
2019年度全広島サッカー選手権大会決勝大会兼天皇杯 JFA 第99回全日本サッカー選手権大会広島県代表決定戦出場
- 4月28日～11月10日
2019年度中国大学サッカーリーグ出場
- 6月16日～6月30日
2019年度中国大学サッカー選手権兼総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント大会中国地域予選大会出場

【硬式野球部】

- 4月6日～5月20日
平成31年度中国六大学野球春季リーグ戦出場

【陸上競技部】

- 4月13日～4月21日
2019年度広島県国体強化記録会出場
- 5月17日～5月19日
第73回中国四国学生陸上競技対校選手権大会出場
- 6月1日
第52回広島県学生陸上競技選手権大会出場

【剣道部】

- 5月25日～26日
第64回西日本学生剣道選手権大会兼第34回西日本女子学生剣道選手権大会出場
- 6月9日
第66回中四国学生剣道選手権大会兼第51回中四国女子学生剣道選手権大会出場
- 6月29日～30日
第67回全日本学生剣道選手権大会出場
第53回全日本女子学生剣道選手権大会出場
第13回全日本女子学生剣道東西対抗試合出場

【柔道部】

- 5月18日
全日本ジュニア体重別選手権大会広島県予選会出場
- 5月25日～26日
第65回中四国学生柔道優勝大会出場

【弓道部】

- 5月24日～5月26日
第63回西日本学生弓道選手権大会出場
- 6月29日～6月30日
第31回全国大学弓道選抜大会出場

【バスケットボール部】

- 5月11日
2019 広島県学生春リーグ出場

【少林寺拳法部】

- 4月28日
第54回少林寺拳法中四国学生大会出場

【ジャグリングサークル ピース】

- 5月11日～5月12日
スリジェレーヴ
- 5月11日～5月19日
あしなが募金(ボランティア)

【シルクハット majic&juggle】

- 5月19日～5月20日
第52回福山ばら祭2019

【YRC(ボランティア)部】

- 4月21日
芦田川清掃
- 4月27日～4月28日
第76回尾道みなと祭り(ボランティア)
- 5月19日
第52回福山ばら祭2019

【薬学部音楽班】

- 4月26日
新入生歓迎ライブ

【軟式野球部】

- 5月12日～5月17日
令和元年度西日本地区軟式野球連盟春季1部リーグ戦出場

【フットサル同好会】

- 4月21日
地域リーグ参加

【男子バレーボール部】

- 5月11日～12日
中国学連春季バレーボールリーグ出場

【管弦楽団】

- 4月3日
入学式演奏

【吹奏楽部】

- 4月3日
入学式演奏

【チアダンス部】

- 5月19日
第52回福山ばら祭2019

【演劇部】

- 4月11日～4月13日
新入生歓迎公演

【学友会モノづくり倶楽部】

- 4月26日～7月31日
モノづくり教室、里山プロジェクト

【学友会執行部】

- 4月23日
リーダーズ会議
- 5月15日
春季学長杯争奪競技大会
- 5月20日～5月22日
春季献血活動実施
- 5月20日～5月24日
マナーアップキャンペーン実施

学務部 学生課

学長杯

開学記念日(5月15日(水))に、学長杯争奪競技大会を開催しました。今年は体育館で「ビーチボールバレー」を行いました。全14チームが参加し、白熱した試合が繰り広げられました。1日爽やかな汗を流し、親睦を深めることができましたと思います。次回の学長杯争奪競技大会も、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

学務部 学生課



2018年

◆第16回広島県高校生英語スピーチコンテストを福山大学大講義室で開催。Acting today to succeed tomorrowのテーマで県内8校から19名が英語でスピーチ。大賞は、広島なぎさ高等学校2年生の山内あいさんが受賞。



(11月17日)

◆福山市立大学祭『輝港祭』で「第2回ツネシカップ福山市立大学英語プレゼンテーション大会」が開催され、流尾智也さん(国際経済学科・当時3年)が1位を、山下真人さん(国際経済学科・当時1年)が3位を受賞。



(11月17日)

◆国際センター留学生部主催行事「秋の広島ツアー in 平和公園&宮島」が実施され、趙建紅国際センター留学生部副部長引率の下、17名の留学生が広島の秋を満喫。



(11月17日)

◆神石高原町立三和小学校で元燦永さん(国際経済学科・当時3年・韓国出身)ら6名が自国を紹介し、小学生と交流。

(11月21日)

◆ブルガリア協定校のソフィア大学の開学130周年記念式典に、富士彰夫副学長が出席し、併せてヴェリコ・タルノヴォ大学も訪問。



(12月8日)

◆学友会主催の大阪・京都ツアーに留学生12名が参加し、日本人学生と交流。



(12月8日・9日)

2019年

◆国際センター留学生部主催行事「多国籍料理教室」を開催。韓国からの留学生指導の下、市民と福山大学生等が、プルコギ、トッポギなどの韓国料理を堪能。



(2月16日)

◆外国人留学生を支援する会主催で「第27回外国人留学生による日本語スピーチコンテスト」が、エフビコR i Mで開催され、3名の留学生が出場。イヴァノヴァ・クリスティーナさん(人間文化学科・交換留学生・ブルガリア出身)と、徐少聡さん(国際経済学科・当時2年・中国出身)が優秀賞を受賞。



(3月2日)

◆広島県日本語教員招聘事業でインドネシア、台湾、ベトナムから3名の日本語教員が本学を訪問。富士彰夫副学長等と意見交換をし、メディア・映像学科、薬学部等の施設を見学。



(3月6日)

◆中国協定校の上海師範大学へ半年間交換留学した井上康平さん(経済学科・当時2年)と河北大学へ半年間交換留学した佐野峻介さん(国際経済学科・当時2年)が富士彰夫副学長に留学修了の報告。



(3月7日)

◆米国協定校のカリフォルニア州立大学サンマルコス校で春季英語研修を実施。薬学科2名(当時2年)が参加。



(3月3日～3月24日)

◆平成30年度学位記授与式が挙行され、37名の学部留学生及び9名の大学院生が卒業。



(3月20日)

◆外国人留学生を支援する会主催の「第27回外国人留学生による日本語スピーチコンテスト」に出場した2名の留学生が松田文子学長に優勝の報告。



(3月26日)

◆平成31年度入学式が挙行され、12名の新入留学生、中国の協定校から9名の編入留学生、6名の大学院生及び6名の交換留学生が入学。

(4月3日)

◆平成31年度海外留学プログラム説明会を実施。国際交流課からの説明に加え、早川達二国際センター長及び留学経験のある学生が海外研修の重要性や魅力を発信。



(4月6日)

◆留学経験者の片岡玲実奈さん(生物工学科・3年)らの呼びかけで新入生歓迎パーティーを開催。約30名が他学科の学生や先輩と交流。留学の魅力についても学生間で共有。



(4月23日)

◆メキシコ・協定締結
メキシコ協定校のモンテレイ大学と交換留学生実施細則を締結。

(4月29日)

学務部 国際交流課

学 内 人 事

【法人役員】

◎就 任 理事	鶴田 泰人 (4月1日付)
◎重 任 理事長	鈴木 省三
副理事長・常務理事	尾崎 史郎
副理事長	松田 文子
理事	大塚 豊 (以上5月26日付)
◎退 任 理事	松浦 史登 (3月31日付)
◎死 亡 総長	清水 厚實 (4月30日付)
◎名誉理事長称号授与 総長	清水 厚實 (5月23日付)

【教員】

◎名誉教授称号授与 前 副学長	松浦 史登
前 人間文化学部 教授	青野 篤子
前 薬学部 教授	金尾 義治
前 薬学部 教授	富田 久夫 (以上4月1日付)
◎再任(役職関係) 学長	松田 文子 (4月1日付)
◎就任(役職関係) 副学長	大塚 豊
学長顧問(総務担当)	松浦 史登
学長補佐(総務・危機管理、IR担当)	平 伸二
学長補佐(教学・共同利用センター担当)	鶴田 泰人
学長補佐(自己点検・長期ビジョン、渉外担当)	山本 覚
学長補佐(入試担当)	佐藤 圭一
人間文化学部長	田中 始男
工学部長	山之上 卓
生命工学部長	山本 覚
薬学部長	鶴田 泰人
大学院人間科学研究科長	平 伸二
大学院工学研究科長	加藤 昌彦
経済学部長補佐	平田 宏二
人間文化学部長補佐	小原 友行
工学部長補佐	香川 直己
経済学科長	北浦 孝
人間文化学科長	小原 友行
建築学科長	都祭 弘幸
情報工学科長	尾関 孝史
生物工学科長	岩本 博行
生命栄養科学科長	石井香代子
生命自己点検評価委員会自己点検評価実施委員会委員長	坂口 勝次
危機管理委員会副委員長	平 伸二
長期ビジョン委員会副委員長	山本 覚
研究安全倫理委員会委員長	菊田 安至
附属図書館分館長	片山 博和
大学教育センター長	大塚 豊
国際センター長	早川 達二
教務委員会委員長	石津 隆
教務委員会副委員長	高阪 勇毅
教職課程委員会委員長	竹盛 浩二
学芸員養成課程委員会委員長	真田 誠至
入試委員会副委員長	赤崎 健司
大学入試センター試験実施委員会副委員長	三川 敦
ハラスメント対応委員会委員長	山崎 理央
ハラスメント対応委員会副委員長	大城 朝子 (以上4月1日付)
◎退任(役職関係) 人間文化学部長	平 伸二
工学部長	香川 直己
生命工学部長	井ノ内直良
大学院工学研究科長	山之上 卓

人間文化学部長補佐	田中 始男
経済学科長	早川 達二
人間文化学科長	重迫 隆司
情報工学科長	山之上 卓
生物工学科長	久富 泰資
生命栄養科学科長	菊田 安至
生命自己点検評価委員会自己点検評価実施委員会委員長	田中 始男
研究安全倫理委員会委員長	山口 泰典
大学教育センター副センター長	坂口 勝次
国際センター長	岩本 博行
教務委員会副委員長	脇 忠幸
学生の安全衛生委員会副委員長	関田 隆一
大学入試センター試験実施委員会副委員長	田淵 紀彦
ハラスメント対応委員会委員長	赤崎 健司
ハラスメント対応委員会副委員長	山崎 理央
北京教育研究センター長	富士 彰夫
北京教育研究センター副センター長	李 均洋
北京教育研究センター副センター長(貴州支部長)	許 霽 (以上3月31日付)

◎定年退職 人間文化学部 教授	青野 篤子
工学部 教授	大島 秀明
工学部 教授	田辺 和康
薬学部 教授	長崎 信浩
薬学部 教授	岡村 信幸
薬学部 教授	石津 隆 (以上3月31日付)

◎辞職 副学長	松浦 史登
人間文化学部 准教授	野寺 綾
人間文化学部 准教授	谷口 敏淳
薬学部 講師	松田 幸久
薬学部 講師	堤 広之 (以上3月31日付)

◎再雇用期間満了 経済学部 准教授	上迫 明
薬学部 教授	金尾 義治 (以上3月31日付)

◎任期満了 経済学部 教授	金丸 純二
人間文化学部 講師	古川 環子
人間文化学部 助手	筒井明日香
生命工学部 教授	南 志忠
生命工学部 教授	高田 浩二
薬学部 教授	富田 久夫 (以上3月31日付)

◎昇任 人間文化学部 准教授	阿部 純
工学部 教授	藤原 美樹
工学部 准教授	伊澤 康一
薬学部 准教授	大西 正俊 (以上4月1日付)

◎兼任 (兼)大学教育センター 講師	真田 誠至
(兼)社会連携センター 教授	高村 克美
(兼)社会連携センター 教授	張 楓
(兼)内海生物資源研究所 教授	金子 健司
(兼)内海生物資源研究所 講師	真田 誠至
(兼)安全安心防災教育研究センター 教授	山之上 卓
(兼)安全安心防災教育研究センター 准教授	伊澤 康一 (以上4月1日付)

◎免兼任 (兼)共同利用センター 講師	前田 吉広 (3月31日付)
------------------------	-------------------

◎採用 経済学部 教授	佐藤 彰三
経済学部 教授	平田 宏二
経済学部 教授	萩野 覚
経済学部 准教授	劉 曙麗
経済学部 講師	田中 征史
経済学部 講師	中村 和裕
経済学部 助教	坂内 慧
人間文化学部 准教授	枝廣 和憲

人間文化学部 准教授	松本 明生
保健管理センター 心理カウンセラー	
人間文化学部 准教授	宮崎 由樹
人間文化学部 講師	大杉 朱美
人間文化学部 講師	武田 知也
人間文化学部 助教	福留 広大
人間文化学部 助手	高野 裕太
工学部 講師	森田 翔太
生命工学部 教授	伊丹 利明
生命工学部 教授	金子 健司
生命工学部 助手	久保田結香
薬学部 教授	前田 頼伸
薬学部 教授	鶴田 泰人
薬学部 教授	長崎 信浩
薬学部 准教授	猿橋 裕子
薬学部 講師	広瀬 雅一
薬学部 講師	木平 孝高
薬学部 講師	白川 真
薬学部 講師	高山 健人
薬学部 助手	福田 靖葉
大学教育センター 教授	大塚 豊
大学教育センター 准教授	竹盛 浩二
大学教育センター 准教授	劉 国彬
大学教育センター 講師	Lowes Jason
大学教育センター 講師	津田 将行
大学教育センター 助教	TANG Warren (以上4月1日付)

◎再採用 工学部 教授	大島 秀明
工学部 教授	田辺 和康
薬学部 教授	岡村 信幸
薬学部 教授	石津 隆 (以上4月1日付)

◎客員教授 経済学部	田中 秀征
経済学部	玉置 知巳
経済学部	向井 洋
経済学部	平山 亮
工学部	横井 一仁
工学部	長岡 正芳
工学部	靄崎 展
生命工学部	宮崎 信之
生命工学部	高田 浩二
薬学部	村上 信行
薬学部	吉富 博則
薬学部	菅 奈奈美
薬学部	出石 啓治
グリーンサイエンス研究センター	中越 信和

(兼)生命工学部 (兼)大学教育センター (兼)安全安心防災教育研究センター	
--	--

◎特命講師 大学教育センター	山口 昌宏 (4月1日付)
◎学校法人福山大学宮地茂記念館館長	尾島 勝 (4月1日付)

【職員】

◎定年退職 入試広報室参事	宇根 昌範 (3月31日付)
------------------	-------------------

◎任期満了 入試広報室参事 就職課参事	間東 斉 阿賀 俊隆 (以上3月31日付)
---------------------------	-----------------------------

◎退職 用度1課事務職員	岡田 怜旺 (5月10日付)
-----------------	-------------------

◎昇任 学校法人福山大学総務部長	萩原 善則
入試広報室専門員	的場 千尋

(兼)学校法人福山大学入試広報室専門員 入試広報室入試企画係長	村山 尚之
(兼)学校法人福山大学入試広報室入試企画係長 庶務課専門員	蔵田 修
企画・文書課長	小林圭二郎
経理部副部長	徳永 充孝
用度2課長	岡田 潤
経理2課長	栗根 智恵
経理2課経理係長	門利有樹子
(兼)経理1課経理係長 工学部・生命工学部事務室事務主任	岡本 明展
薬学部事務室事務主任	横山 達哉
附属図書館図書主任	喜多村侑佳 (以上4月1日付)

◎配置換 企画・文書課事務職員	松永 大輝
用度1課長	林 孝彦
(兼)学校法人福山大学財務部財務課長 用度1課事務職員	岡田 怜旺
用度1課事務職員	原本 乃亜
(兼)用度2課事務職員	近藤 正之
経理1課長	片山 博和
(兼)学校法人福山大学財務部経理課長 経理1課課長補佐	藤原 紀子
(兼)経理2課課長補佐	楠見 宣昭
教務課参事	佐藤利恵子
就職課課長補佐	高原 有美 (以上4月1日付)

◎兼務 (兼)学校法人福山大学財務部長	蘭頭 里美
(兼)学校法人福山大学施設部長	蘭頭 里美
(兼)学校法人福山大学施設部施設課長	矢野 幸一
(兼)用度1課職員	記谷 康之 (以上4月1日付)

◎免兼務 (兼)学校法人福山大学総務部長	蘭頭 里美
(兼)学校法人福山大学総務課長	萩原 善則
(兼)学校法人福山大学総務部財務課長	林 孝彦
(兼)学校法人福山大学総務部経理課長	近藤 正之
(兼)学校法人福山大学総務部施設担当	矢野 幸一
(兼)学校法人福山大学入試広報室入試広報主任	的場 千尋
(兼)学校法人福山大学入試広報室入試企画主任	村山 尚之
(兼)用度課職員	記谷 康之
(兼)工学部・生命工学部事務長	松野 宣英 (以上3月31日付)

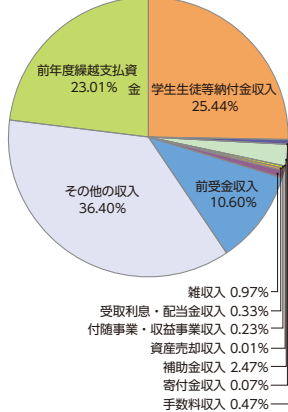
◎採用 学校法人福山大学参与	岡崎 文憲
(兼)福山大学参事	
入試広報室参事	井上 明洋
(兼)学校法人福山大学入試広報室参事 入試広報室参事	安原 宏成
(兼)学校法人福山大学入試広報室参事 入試広報室参事	増井 誠徳
(兼)学校法人福山大学入試広報室参事 用度2課事務職員	中本 祐人
(兼)用度1課事務職員 工学部・生命工学部事務長	山崎 護
学生課参事	峠 周治
国際交流課専門員	清藤 隆春
内海生物資源研究所技術職員	得能 譲
社会連携センター参事(事務嘱託員)	前原 幸三 (以上4月1日付)

平成30年度 学校法人福山大学財務状況

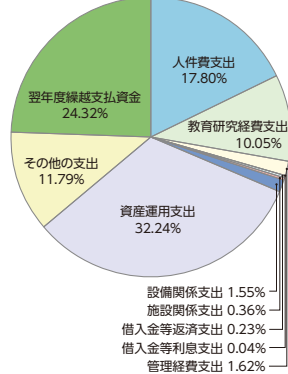
資金収支計算書 (平成30年4月1日～平成31年3月31日) (単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,934,632,800	人件費支出	3,708,618,119
手数料収入	109,952,808	教育研究経費支出	2,094,862,214
寄付金収入	14,943,710	管理経費支出	337,021,181
補助金収入	576,569,924	借入金等利息支出	8,391,545
資産売却収入	1,832,452	借入金等返済支出	47,760,000
付随事業・収益事業収入	53,543,568	施設関係支出	74,428,705
受取利息・配当金収入	77,905,481	設備関係支出	323,434,117
雑収入	226,008,770	資産運用支出	6,716,780,258
借入金等収入	0	その他の支出	2,456,974,792
前受金収入	2,472,720,994	資金支出調整勘定	△ 101,775,593
その他の収入	8,491,200,684		
資金収入調整勘定	△ 2,594,004,461		
前年度繰越支払資金	5,368,930,001	翌年度繰越支払資金	5,067,741,393
収入の部合計	20,734,236,731	支出の部合計	20,734,236,731

収入



支出



資金収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとなっておりませんが、別途「資金収入調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等を調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目の説明	
収入の部	
学生生徒等納付金収入	授業料・入学金・実験実習料等の収入
手数料収入	入学検定料や各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金収入	金銭及びその他の資産を寄贈者から贈与された収入
補助金収入	国または地方公共団体から交付される補助金収入
資産売却収入	帳簿残高のある固定資産等の売却による収入
付随事業・収益事業収入	補助活動、附属事業、受託事業および収益事業による収入
受取利息・配当金収入	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
借入金等収入	返済期限が貸借対照日後1年を超えて到来する長期借入金と1年以内の短期借入金及び学校債の発行による収入
前受金収入	翌会計年度以後の諸活動に対応する収入を当該会計年度において資金収入したもの
その他の収入	上記以外の収入で、各種特定資産の取崩収入及び預り金等の収入
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入ですが、資金の収入が当年度中に行われず、前年度以前または翌年度以降となる項目を調整する勘定科目
支出の部	
人件費支出	教職員人件費、役員報酬、退職金に係る支出
教育研究経費支出	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学金、通信費、印刷製本費等の支出
管理経費支出	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出
借入金等利息支出	借入金及び学校債に係る利息支出
借入金等返済支出	借入金及び学校債に係る返済支出
施設関係支出	土地、建物、構築物等の固定資産の取得に係る支出
設備関係支出	機器備品、図書、車両等の取得に係る支出
資産運用支出	各種特定資産への繰入支出、有価証券の取得に係る支出
その他の支出	上記以外の支出で、前払金、仮払金等に係る支出
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対する支出であるが、実際の資金の支出が前年度以前にあったものまたは、翌年度以降になるもの

事業活動収支計算書 (平成30年4月1日～平成31年3月31日) (単位：円)

科目	金額
教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	5,934,632,800
手数料	109,952,808
寄付金	14,943,710
経常費等補助金	566,807,924
付随事業収入	53,543,568
雑収入	226,008,770
教育活動収入計	6,905,889,580
事業活動支出の部	
人件費	3,724,664,019
教育研究経費	3,009,970,329
管理経費	394,170,499
徴収不能額等	0
教育活動支出計	7,128,804,847
教育活動収支差額	△ 222,915,267
教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	77,929,567
その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	77,929,567
事業活動支出の部	
借入金等利息	8,391,545
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	8,391,545
教育活動外収支差額	69,538,022
経常収支差額	△ 153,377,245
特別収支	
事業活動収入の部	
資産売却差額	1,064,470
その他の特別収入	51,516,456
特別収入計	52,580,926
事業活動支出の部	
資産処分差額	185,385
その他の特別支出	0
特別支出計	185,385
特別収支差額	52,395,541
基本金組入前当年度収支差額	△ 100,981,704
基本金組入額合計	△ 81,000,000
当年度収支差額	△ 181,981,704
前年度繰越収支差額	6,701,833,843
基本金取崩額	223,306,013
翌年度繰越収支差額	6,743,158,152
(参考)	
事業活動収入計	7,036,400,073
事業活動支出計	7,137,381,777

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、毎会計年度の3つの活動(教育活動、教育活動以外の経常的な活動、それ以外の活動)に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除した会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入と事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためのものです。

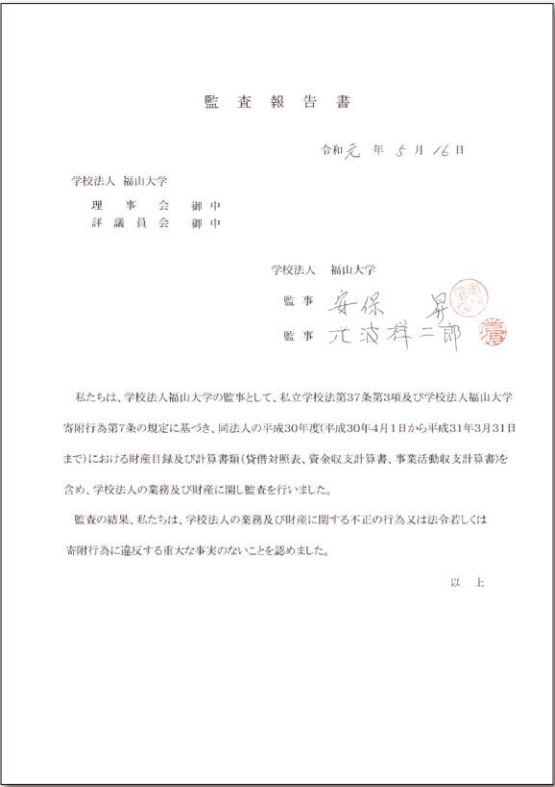
科目の説明	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	授業料・入学金・実験実習料等の収入
手数料	入学検定料や各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金	資金収支の寄付金収入に現物寄付を加えた額 (施設設備に係る寄付は除く)
経常費等補助金	国や地方公共団体から交付される補助金収入 (施設設備に係る補助金は除く)
付随事業収入	補助活動、附属事業、受託事業による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
受取利息・配当金	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
その他の教育活動外収入	収益事業等からの収入
資産売却差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を超えた場合の超過額
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、補助金及び過年度修正額による収入
事業活動支出の部	
人件費	教職員人件費、役員報酬、退職金に退職給付引当金繰入額を加えたもの
教育研究経費	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学金、通信費、印刷製本費等の支出に減価償却額を加えたもの
管理経費	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出に減価償却額を加えたもの
徴収不能額等	前年度以前に計上した未収入金等で、当年度において回収不能と判断した額
借入金等利息	借入金及び学校債の利息に係る支出
その他の教育活動外支出	為替差損等に係る支出
資産処分差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を下回った場合の差額及び資産を除却した場合の除却損
その他の特別支出	災害損失及び過年度修正額に係る支出
その他の項目	
基本金組入前当年度収支差額	当年度における教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の全ての収入と支出の差額
基本金組入額合計	第1号基本金から第4号基本金の当年度組入額
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除した当年度の収支差額
前年度繰越収支差額	前年度までの累積収支差額
基本金取崩額	基本金を取り崩した場合の額
翌年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額に当年度収支差額と基本金取崩額を加えた額で翌年度に繰り越す収支差額
事業活動収入計	当年度の事業活動収入の合計
事業活動支出計	当年度の事業活動支出の合計

貸借対照表		(平成31年3月31日) (単位：円)	
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	59,561,764,313	固定負債	2,166,943,480
有形固定資産	27,880,864,072	長期借入金	359,310,000
土地	6,890,160,619	退職給与引当金	1,761,011,608
建物	13,356,072,542	長期未払金	46,621,872
構築物	672,040,360	流動負債	2,730,337,218
教育研究用機器備品	2,080,648,380	短期借入金	47,760,000
管理用機器備品	32,072,859	未払金	87,178,001
図書	4,774,319,618	前受金	2,472,720,994
車両	42,558,602	預り金	122,678,223
船舶	1,678,292	負債の部合計	4,897,280,698
建設仮勘定	31,312,800		
特定資産	31,644,327,565	純資産の部	
第2号基本金引当特定資産	3,700,000,000	科目	金額
退職給与引当特定資産	1,761,016,830	基本金	53,256,352,298
減価償却引当特定資産	16,194,947,794	第1号基本金	49,068,352,298
校舎建設等引当特定資産	4,575,757,976	第2号基本金	3,700,000,000
創設準備引当特定資産	5,412,604,965	第4号基本金	488,000,000
その他の固定資産	36,572,676	繰越収支差額	6,743,158,152
電話加入権	3,048,426	翌年度繰越収支差額	6,743,158,152
施設利用権	600	純資産の部合計	59,999,510,450
保証金	33,363,650		
敷金	160,000	負債及び純資産の部合計	64,896,791,148
流動資産	5,335,026,835		
現金預金	5,067,741,393		
未収入金	159,789,023		
有価証券	81,363,520		
前払金	25,834,559		
仮払金	298,340		
資産の部合計	64,896,791,148		

貸借対照表は、年度末における資産、負債、純資産(基本金、繰越収支差額)の状況を示すものです。資金収支計算書と事業活動収支計算書が半年度の収支を示すのに対して、貸借対照表はこれまでの財務状況の積み重ねを示しています。

資産の部	
固定資産	次の有形固定資産、特定資産、その他の固定資産の合計
有形固定資産	貸借対照表日後1年を超えて使用する有形の資産で、土地、建物、教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車輛等
特定資産	基本金引当特定資産及び各種引当特定資産
その他の固定資産	電話加入権、施設利用権、有価証券等
流動資産	現金預金、未収入金、貯蔵品等
負債の部	
固定負債	長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等
流動負債	短期借入金、未払金、前受金、預り金等
純資産の部	
基本金	学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために組み入れた金額で、第1号基本金から第4号基本金があります
第1号基本金	教育活動を行うために取得した固定資産の価額
第2号基本金	将来取得する固定資産の取得に充てる金銭及びその他の資産の額
第3号基本金	奨学金等の基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭及びその他の資産の額
第4号基本金	恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額
繰越収支差額	累積の収支状況を示しており、事業活動収支計算書の翌年度繰越収支差額と一致します

財産目録		(平成31年3月31日) (単位：円)	
一 資産額			
1. 基本財産			31,580,864,072
土地	338,143 m ²		6,890,160,619
建物	149,729 m ²		13,356,072,542
構築物			672,040,360
教育研究用機器備品	6,119 点		2,080,648,380
管理用機器備品	144 点		32,072,859
図書	445,136 冊		4,774,319,618
車両	33 台		42,558,602
船舶	2 艇		1,678,292
建設仮勘定			31,312,800
第2号基本金引当特定資産			3,700,000,000
2. 運用財産			33,315,927,076
現金預金			5,067,741,393
退職給与引当特定資産			1,761,016,830
減価償却引当特定資産			16,194,947,794
校舎建設等引当特定資産			4,575,757,976
創設準備引当特定資産			5,412,604,965
電話加入権			3,048,426
施設利用権			600
保証金			33,363,650
敷金			160,000
未収入金			159,789,023
有価証券			81,363,520
前払金			25,834,559
仮払金			298,340
資産総額			64,896,791,148
二 負債額			
1. 固定負債			2,166,943,480
長期借入金	日本私立学校振興・共済事業団		359,310,000
退職給与引当金			1,761,011,608
長期未払金			46,621,872
2. 流動負債			2,730,337,218
短期借入金	日本私立学校振興・共済事業団		47,760,000
未払金			87,178,001
前受金			2,472,720,994
預り金			122,678,223
負債総額			4,897,280,698
正味財産(資産総額－負債総額)			59,999,510,450



計報

今日の学校法人福山大学の発展に多大なご貢献を頂いた学校法人福山大学 故 清水厚實 総長が平成31年4月30日に88歳でご逝去になられ、令和元年6月1日(土)学校法人福山大学 宮地茂記念館9階ホールで、お別れの会が執り行われました。

お別れの会には、産業界をはじめ教育関係者の方々、本法人役員並びに福山大学、福山平成大学の教職員を含め380名が献花し、お別れを惜しまれました。

お別れの会場には、清水総長の遺影が掲げられ、理事長就任以来、学校法人福山大学の発展のため、今日まで、ご貢献いただいた数々の思い出を清水総長の肉声とともに在りし日の姿が映し出され、これまでの多大なご貢献に対し改めて感謝するとともに、ご冥福をお祈りいたしました。

清水総長に於かれましては、1975年(昭和50年)1月の学校法人福山大学設立以前から設立に関与され、以来、法人監事、評議員、理事、副理事長を経て、平成23年6月から理事長、



平成30年5月から総長として44年の永きにわたり学校法人福山大学、福山大学、福山平成大学の発展に多大なご貢献をいただきました。

つきましては、多大なご貢献をいただいた故 清水総長に対し、学校法人福山大学 名誉理事長の称号が令和元年5月23日付で授与されました。

「どの子どもそだつ育て方ひとつで」を信条として生涯を貫かれた清水厚實総長のご冥福をお祈りいたします。



平成31年4月30日 永眠
享年88歳



令和2（2020）年度 入学試験の概要

令和2（2020）年度入学試験の日程については次のとおりです。全入学試験において同窓生・在学生入学金減免制度を実施しています。同窓生・在学生入学金減免制度とは、福山大学・福山平成大学の同窓生の子弟及び在学生の兄弟に対して、就学時の経済的支援のため、入学金を減免する制度(出願時に必要書類を提出)です。また、地震・豪雨等により災害救助法が適用された地域において被災された方に対しての減免制度もあります。下欄の入試の他に指定校入学試験を実施しています。

なお、入学試験の詳細については入試広報室までお問い合わせください。

◆入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表日
A O 入学試験（第1期）	(エントリーシート提出期間) 令和元(2019)年 8月 1日(木) ～ 8月 6日(火)(必着)	令和元(2019)年 9月 6日(金)	令和元(2019)年 9月11日(水)
A O 入学試験（第2期）	(エントリーシート提出期間) 令和元(2019)年 9月10日(火) ～ 9月14日(土)(必着)	令和元(2019)年10月16日(水)	令和元(2019)年10月19日(土)
推薦入学試験(A日程) (試験日自由選択制)	令和元(2019)年10月17日(木) ～ 11月 1日(金)(必着)	令和元(2019)年11月 7日(木) 令和元(2019)年11月 8日(金)	令和元(2019)年11月13日(水)
推薦入学試験(B日程)	令和元(2019)年11月22日(金) ～ 12月 3日(火)(消印有効)	令和元(2019)年12月 7日(土)	令和元(2019)年12月11日(水)
前期入学試験(A日程) (試験日自由選択制)	令和2(2020)年 1月 6日(月) ～ 1月25日(土)(消印有効)	令和2(2020)年 1月31日(金) 令和2(2020)年 2月 1日(土) 令和2(2020)年 2月 2日(日) 令和2(2020)年 2月 3日(月)	令和2(2020)年 2月 8日(土)
前期入学試験(B日程)	令和2(2020)年 2月 5日(水) ～ 2月14日(金)(消印有効)	令和2(2020)年 2月19日(水)	令和2(2020)年 2月22日(土)
後期入学試験	令和2(2020)年 2月25日(火) ～ 3月 3日(火)(消印有効)	令和2(2020)年 3月 7日(土)	令和2(2020)年 3月11日(水)
センター試験利用入学試験 (前期日程)	令和2(2020)年 1月 6日(月) ～ 1月25日(土)(消印有効)	個別学力試験は課しません	令和2(2020)年 2月 8日(土)
センター試験利用入学試験 (後期日程)	令和2(2020)年 2月25日(火) ～ 3月 3日(火)(必着)	個別学力試験は課しません	令和2(2020)年 3月11日(水)

※《試験日自由選択制》とは、上記試験日の中から、試験日を志願者が自由に選択できる制度です。
志願者は、同一学部・学科を複数回志願することや、異なる学科を1日ずつ志願することもできます。